



SETAGAYA

REPORT

せたがや区議会レポート

2009年 新春号
発行:公明党世田谷区議団

公明党世田谷区議団は、子育てや福祉、医療、中小企業支援など、生活者の視点に立ち、区民の暮らしを守るための施策の充実に全力を挙げています。区民の声を区政に届け、区議会定例会で実現に導いた公明党の取り組みを紹介します。

国立成育医療センター敷地内に 24時間対応の認可保育園が設置

2009年の春、国立成育医療センター敷地内に保育園が開園します。認可保育園としては区内で初となる「24時間対応型の延長保育」として注目されています。公明党区議団が、この設置をいち早く区議会で提案しました。出産した医師や看護師、地域の働く女性から「職場復帰したくても、子どもを預ける施設がない」との切実な声を受け、05年3月、栗林のり子議員が、区議会の予算特別委員会で初めてこの問題を取り上げました。



<保育園の完成予想図>

区は都や国と協力し、実現へ検討する方向に動き出しました。たしかに土地の賃借など、国との連携が不可欠です。そこで公明党の国会議員も全面的にバックアップ。栗林議員の質問から4年——。ついに“夢の保育園”が実現しました。

零細企業に小口の緊急特別融資を実現

不況下で資金繰りに苦闘する小規模事業者を対象に、限度額500万円、5年間金利ゼロ、信用保証料の2分の1を区が補助する緊急経済対策が実現しました。

子どものインフルエンザ予防接種を助成

子どものインフルエンザの発症や重症化を予防し、安心して子育てができるよう、予防接種の費用について、1歳から15歳（中学生）まで、1回1000円を助成する制度がスタートしました。

妊婦健診14回まで助成を拡充

世田谷区では、2008年度から初回健診に8500円、2回目から各5000円を上限に、最大14回分まで助成を拡充しました。

あなたの夢に一生懸命！

◎人材都市・世田谷へ

- ・若者の進路を応援する「地域若者サポートステーション」を拡充します。
- ・生徒の個性を引き出す「チャレンジスクール」を整備します。
- ・女性の一生をバックアップするサポートプランを推進します。

◎環境都市・世田谷へ

- ・都市部の緑と世田谷の街路樹で結ぶ「風の道」を創出します。屋敷林や農地の保全活動を進め、ヒートアイランド現象の緩和に努めます。
- ・太陽光発電など自然エネルギーの利用を推進します。

◎安心都市・世田谷へ

- ・高齢者や障害者の方が活躍できるよう、高齢者住宅や雇用対策を推進します。
- ・介護者の負担を軽減するケアハウスやショートステイの増設を実現します。
- ・先端技術を活かした都市部の防災対策を実施します。

活躍トピックス

公明党世田谷区議団は、区民の安全な暮らしを守るために、区議会で最先端技術を活かした災害に強い街づくりを提案してきました。

世田谷区議会議員／党都本部女性局次長

栗林のり子が実現

くりぼやし

わずか2カ月で水害対策

2008年夏、上野毛3丁目の住民から栗林議員に区民相談が寄せられました。

「大雨のたびに浸水して……」

駒沢通りの坂を下って雨水が流れ込み、下水管から排水があふれ出すというのです。

栗林議員はすぐさま区の土木課に調査を依頼。ところが、「抜本的な解決は駒沢通りの拡幅にあわせて検討しているところです」と。5年以上も先の話です。都の下水道局でも回答は同じでした。

大雨の日、現地を視察。再度、区の土木課にかけあった結果、「できるかぎりの対策を講じます」と担当者。数週間後、雨水排水管の設置工事が完了したとの報告が。区民相談からわずか2カ月の対応に、依頼者も大喜び。中学生のお嬢さまからメールも届きました。「議員さんって本当に住民のために動いてくれるんですね。すごいなあ」

